

産業建設常任委員会報告書

議長 事務局長 次長 書記



会議日時	令和2年3月23日（月）午前9時00分～午前12時00分			
会議場所	○議員控室 ○委員会室 ○議会図書室 ○現地（興津、東大奈路）			
出席者数	委員5名のうち出席者5名			
出席委員	委員長	榎野 章	副委員長	武田 秀義
	委員	味元 和義	委員	橋本 章央
	委員	林 健三		
欠席委員				
事務局	事務局長	長谷部 卓也		
出席者	建設課	課長 吉岡範満	建設課	主査 戸田進太郎
説明者	ポンプ運転管理委託者	佐藤 恵司		
付議事件	1. 興津排水機場施設視察			
	2. 地場産業振興センター視察			
	3. その他			
審査・調査	全員協議会で移管された、興津排水機場長寿命化事業の施設を現地調査する。			
	排水施設管理者の佐藤氏より、各施設の説明を受ける。大雨の度に佐藤氏が手動によりゲート等を開けているとの事である。また、この施設のポンプ自体は、対応年数が45年で、設置後約30年経過しており、あと15年をもたすため今回のポンプオーバーホールに至ったとの事で、新規設置すれば億単位の経費がかかると聞いた。			
	自家発電機等も老朽化が甚だしい状況であった。また、浦分の防波堤の工事現場も視察したが、まだクレーン船があるだけで工事が始まっていない。			
	11時20分より、落成した地場産業振興センター加工場の内部を見学した。			
	振興センターの案内で、ギャザーキャップや不織布保護服を着用し、加工施設全ての説明を受けた。肉まんの衛生面はもちろん生産量が格段に飛躍するので、作るだけ売れることを期待する。			
	委員からは、他にも肉まんはあり、生産能力も3倍となるので、かなり販売網を確保しておく必要があるなどの意見があった。			
報告日	令和2年4月1日（水）		委員長署名	榎野 章 